

生徒たちはスウェーデン・アメリカ・日本の制度を比較検討し、日本のよりよい介護保険制度のあり方を考えています。各国の制度の基本事項を押さえた上で自分の考えを主張し合うことは、「習得」したことをもとに、思考し判断する「活用型」の学習だと考えています。そして、人間の尊厳に関わる視点を取り入れることによって、介護の本質に迫る「探究型」の学習を提案します。

社会科（公民的分野）指導案

日 時 平成20年11月14日（金）第1校時

場 所 熊本大学教育学部附属中学校 社会科教室

学 級 熊本大学教育学部附属中学校 3年4組

男子20名 女子20名 計40名

指導者 熊本大学教育学部附属中学校 教諭 川上 修

1 単元名 「国民生活と福祉 ～社会保障と国民の福祉～」(東京書籍 P124～129)

2 単元について

(1) 単元観

日本国憲法第25条では「①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する ②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障、及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」と定めている。この精神にもとづき国は国民が安心して生活ができるように、社会保障制度を整えていく必要がある。そんな中、現在の日本は世界で最も速いスピードで高齢化が進み、2025年には65歳以上の人口が30%を超える超高齢社会となり、社会福祉は大きな転換を迫られている。特に増大する社会保障のための資金を少子化の進む中で、誰がどのようなかたちで負担するかなど財政面の課題が大きく取り上げられている。一方、そうした財政面も大切だが、この社会保障制度が、いったい誰のために、どんな目的で作られているかという制度の内容面を考えていくことはさらに大切な視点である。

2000年4月に介護保険制度がスタートして6年、サービス利用者が急増して財政を圧迫してきたことなどにより制度の存続が危ぶまれるとして、国は制度の改正に着手することになった。ポイントは「本当に必要なサービスを、本当に必要な人へ」という目標のもと、「給付の適正化」を図ろうというものである。この「給付の適正化」の特徴的な点として「施設給付における居住費・食費の自己負担」があげられる。一方、利用者の不公平感をなくすために改正されたはずの「施設給付見直し」によって、利用者の経済的な負担が増えたり、受きたいサービスが受けられなくなったり、利用控えのため介護者の疲労が蓄積し、介護疲れや介護者による虐待などのリスクが高くなり危険性が大きくなったともいわれている。

今回、こうした社会的な課題といえる日本の介護保険制度のしくみや問題点を明らかにし、これからの介護保険制度のあり方について考えさせる学習を行うこととした。さらに、この学習にとって大切なことは、生徒たちに①制度を作っていく政府の立場、②介護を受ける立場（高齢者）、③介護をする立場、という多面的・多角的な視点を持たせ

ることだと考えた。このことは、「制度のしくみ（内容面）」と「介護に関わる人々の思い（情意面）」の両面を扱わなければ介護の本質に迫る学習にはならないのではということを示している。

そこで「制度の内容面」を考えさせるために、スウェーデン（高負担高福祉）・アメリカ（低負担低福祉）の介護保険の制度について比較させ、これからの日本にどちらの制度を取り入れていくかを学習課題としてディベート的な討論学習を行わせることにした。また、「介護に関わる人々の思い（情意面）」を考えさせるために『おむつはずし』を例として取りあげ、人間の尊厳とは何かを追究させたい。その際、考える視点として前述の3つの立場のうち、「介護を受ける立場」と「介護をする立場」から、これからの介護保険制度のあり方を考える学習を進めていきたい。こうしたこれから目指す社会のあり方（自分の生き方）を考えていくことは、本県の研究テーマである「確かな学びを育む社会科学習」につながる活動だと考える。

(2) 系統観

| 系 統 知識・技能 | 2年地理 | 1・2年歴史（税の制度） | | | | 中学3年（国民主権） | | |
|--------------|----------|--------------|------|------|------|------------|----------------|---------------|
| | 世界と日本の人口 | 班田収授法 | 太閤検地 | 地租改正 | 日露戦争 | 日本国憲法 | 国民生活と福祉（租税と財政） | 国民生活と福祉（社会保障） |
| 情報の取り出し | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 解 釈 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 熟考・評価 | | | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |

◎は税や介護保険制度に関する学びにおいて特に身につけさせたい技能、○は身につけさせたい技能を表している。

〈知識・技能の系統〉

知識の系統としては、2年地理の「世界と日本の人口」において日本が抱える「少子高齢化」の現実を学ぶことは、3年公民での政府の財源不足の課題につながるための内容面のつながりがある。また、生徒は歴史では古代から近・現代にいたるまで、税の制度については国家の統治や戦費としての色合いが濃く、国家の成立にとって不可欠なものだったととらえている。そうした点で現在の憲法のもとでの税制度は、国民のための制度になっているという違いがある。そうした財源をもととして現在の介護保険制度が成立している。

技能の系統としては、2年地理の「世界と日本の人口」において、人口ピラミッドを作成することで、世界と比べた日本の人口構成の特徴分析を行っている。また、1・2年生の歴史においては「いつ・だれが・なぜ（何の目的で）・何をして・どうなった」という視点を持って構造的に図化で表す技能を身につけている。そして、そうした技能をもとにして、3年公民の「国民生活と福祉」においては、税制や介護保険制度について2つの立場で討論を行うことで現代の日本の抱える制度の課題を構造的にとらえることを身につけさせたい技能ととらえている。

(3) 生徒観

事前のアンケートの結果は次の通りである。(実施日9月5日)

| | | | | | | |
|---|-----------------------------------|----|-----|----------|-------|-----|
| 1 | 自分の親を介護するとしたら、どのような形で行おうと思っていますか？ | どの | 自宅で | デイケア(自宅) | 老人ホーム | その他 |
| | | | 9名 | 13名 | 14名 | 4名 |

- 自宅で介護するとした生徒の理由には、自宅での介護が安心や親もそれを望んでいるからなどが多く、育ててもらったことへの感謝の気持ちを書いているものが多い。
- デイケアサービスについては、自分が働いている間はサービスを受けている方が安心とする意見が多く、また体を動かしたり友達ができることのメリットをあげる生徒も多く、高齢者になってもコミュニケーションの大切さを感じている意見も見られた。
- 老人ホームとした生徒の理由には、仕事の関係で介護することが難しいし、専門の施設の方が安心という理由が多い。また、介護をすることで自分が疲れて病気をしたり、時間がなくなるなど自分の生活を理由にできないとする意見もあった。

2 介護など福祉に関することで調べたいことは何ですか？ (学習課題作りの予想)

- ・施設に入るのにどれくらいのコストがかかるのか、また、介護保険で足りているのか？
- ・介護に関する施設にはどんなものがあるのか、どんなサービスがされているか？
- ・介護をする人は足りているか、介護されている人の数はどれくらい増えているか？
- ・外国と比べて、日本の介護はどうだろうか、充実しているのだろうか？
- ・高齢者の方は、どのような介護サービスを求めているのだろうか？
- ・年金問題はこれからどうなっていくのだろうか？
- ・自分の親にも、これからどうするのか、どうしたいのか尋ねてみたい。

- 生徒は少子高齢社会や年金制度については、授業だけでなくニュースや新聞等のメディアを通して、興味を持っている生徒も多い。ただ、介護についてのしくみや課題点については、確かな知識を持っている生徒は少ない。また、「介護される方(高齢者)の立場」や「介護する人の立場」など介護に関わる人の思いについて考えたことのある生徒はほとんどいないのが現状である。そのために、社会科の時間だけでなく、道徳の活用や、実際に施設訪問(土曜日の利用)などを行っている。

(4) 指導観

- 租税と自分たちの生活の関係について考えさせるために、日本の税についてのディベート的な討論学習を取り入れる。

テーマ『これからの日本の税は直接税・間接税のどちらの割合を大きくしていくべきか？ ~安定性と公平性の面からの比較から考えよう~』
テーマ『これからの日本のよりよい税制度のあり方を提案しよう。』

- 様々な社会保障がどのような役割を果たしているのかを具体的に知るために、映像資料を用いたり、ゲストティーチャーを招いて話を聞く機会を設定する。
- 「年をとる」ということ、高齢者の特徴や良さを理解するために、体や心の変化について具体的な例をあげ、高齢者の立場や思いを考える場面を取り入れる。

- 日本は本当に豊かなのだろうかという課題設定をするために、自殺者が多い（高齢者も多い）現実を資料から読み取らせ、高齢社会の抱える問題について考えさせる。
- 日本の介護保険制度のしくみや問題点に気づかせるために、スウェーデンとアメリカの介護保険の制度を比較検討させる。
- 日本の介護保険制度の目的や課題点を知るために、介護保険制度の改正前と改正後と比較させる。

テーマ『これからの日本の介護保険制度はスウェーデン型 or アメリカ型のどちらを選びますか？』

○ 人間の尊厳や生きがいに気づかせ、「介護とは何か」「介護保険制度は誰の立場で考えられるべきか」ととらえさせるために、「おむつはずし」を例にあげ考えさせる。

3 単元の目標

【確かな意欲】

国民生活と福祉の向上を目指すために、国や地方公共団体が果たしている役割について意欲的に学習に取り組みせ、租税の意義と役割、少子高齢社会の課題を自らの問題として考えさせる。

【確かな知識】

国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしていることならについてのあらましを租税と財政、社会保障を通して理解させる。

【確かな判断】

国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしていることならについて多面的・多角的に考え、さまざまな観点や立場から公正に判断させる。

【資料活用の技能・表現】

社会保障や経済に関する課題学習において、さまざまな情報手段を用いて自分の考えをまとめたり、わかりやすく発表させる。

4 単元の指導計画（9時間取り扱い）

| 過程 | 次 | 時 | 主な学習活動 | おもな手だて | 評価 |
|-----|---|---|--|---|---|
| つかむ | 1 | 1 | ・政府の経済活動と租税について、そのしくみや役割について調べる。また、租税の役割について学習課題を設定する。 | ・「税金は必要か」という疑問をもとに国税局のビデオを見ることで、税金の必要性や財政のはたらきについて理解させる。 ・課題解決の方法を理解させる。 | ・政府の経済活動や租税の制度について疑問点を出し合い、学習課題をつくることができる。（発表内容） 【関心・意欲・態度】 |

| | | | | |
|------|---|--|---|---|
| 予想する | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・租税について知るとともに、直接税や間接税のメリット、デメリットについて理解する。今後、租税としてどちらの割合を増やすべきか、考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・直接税と間接税の特徴を理解し、「これからどちらの割合を増やすべきか」をどちらかの立場に立って調べさせる。 (直接税は所得税、間接税は消費税として考える。) ・それぞれの立場ごとにグループを作り、主張点の確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本や税について関心を持ち、政府の経済活動や租税の意義や集め方など、自分たちの問題として考えようとしている。(発表内容)【関心・意欲・態度】 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ディベート的な討論学習を通して、これからの日本の税制度について考える。『これからの日本の税は直接税・間接税のどちらの割合を大きくしていくべきか?』『これからの日本のよりよい税制度を附属中学校から提案しよう』 | <ul style="list-style-type: none"> ・直接税と間接税の特徴を理解し、「これからどちらの割合を増やすべきか」をどちらかの立場で討論させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 〈話し合いの視点〉 ・安定した税制度 ・公平性のある税制度 </div> ・よりよい税の制度のあり方をグループごとに話し合い、提案させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・租税の意義や義務、集め方など国や納税者などさまざまな立場から多面的・多角的に判断している。(発表内容・学習プリント) 【思考・判断】 |
| 確かめる | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の社会保障制度について四つの柱について調べ、介護保険制度について学習課題を設定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障について内容を理解させる。 ・これからの介護保険制度について調べていくための学習課題を設定させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会保障制度の概略を理解し、その知識を身につけている。(学習プリント) 【知識・理解】 |
| つかむ | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本とスウェーデンやアメリカの介護保険の制度を比較し、日本の介護保険制度のしくみや問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・スウェーデン型(高負担高福祉)とアメリカ型(低負担低福祉)の特徴を理解し、「これからどちらを選ぶか」の立場でグ | <ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の介護保険の制度について多面的・多角的にとらえ、これからの日本の介護保険制度のあり方につ |
| 予想する | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本とスウェーデンやアメリカの介護保険の制度を比較し、日本の介護保険制度のしくみや問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・スウェーデン型(高負担高福祉)とアメリカ型(低負担低福祉)の特徴を理解し、「これからどちらを選ぶか」の立場でグ | <ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の介護保険の制度について多面的・多角的にとらえ、これからの日本の介護保険制度のあり方につ |

| | | | | |
|-------------|----------|---|---|---|
| <p>確かめる</p> | <p>4</p> | <p>点について調べる。</p> | <p>ループごとに調べ学習を行う。</p> | <p>いて表や図にまとめることができる。(学習プリント)</p> <p>【技能・表現】</p> |
| | | <p>1</p> <p>・ディベート的な討論学習を通して、これからの日本の介護保険制度のあり方について考える。『これからの日本の介護保険制度はスウェーデン型 or アメリカ型のどちらを選びますか?』</p> | <p>・スウェーデン型（高負担高福祉）とアメリカ型（低負担低福祉）に分かれて討論学習を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈話し合いの視点〉</p> <p>・「安心」感のある介護保険制度</p> </div> | <p>・日本や外国の介護保険制度について意欲的に調べ、これからの日本の介護保険制度のあり方について考え、発表しようとしている。(発表内容)</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> |
| | | <p>1</p> <p>・日本の介護保険制度の改正前と改正後と比較させ、介護保険制度の目的や現状を知り、疑問点を整理する。</p> | <p>・介護保険制度の改正点を確認させる。</p> <p>・「介護予防」と「施設給付見直し」を中心に確認させる。</p> | <p>・介護保険制度について疑問点を出し合い、学習課題をつくることができる。(発表内容)【関心・意欲・態度】</p> |
| | | <p>1</p> <p>『これからの日本の介護保障制度のあり方を附属中学校から提案しよう。～熊大附中プランを作ろう～』</p> | <p>・「なぜ、鶴舞乃城では「おむつはずし」を行っているのだろうか」について考えることで、高齢者の尊厳について考える。</p> <p>・学習のまとめとして熊大附中プランを作成する。</p> | <p>・日本や外国の介護保険制度について多面的・多角的に考え、これからの日本の介護保険制度のあり方について考えを持つことができる。(学習プリント発表内容)【思考・判断】</p> |

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- 介護に関する制度や人権についての話し合いを通して、これからの日本の介護保険制度のあり方について多面的・多角的に考えることができる。

(2) 本時の展開

| 過程 | 配時 | 主な学習活動 | 教師の指導と支援 (予想される生徒の反応) | その他 教材・資料等 |
|----|----|---|---|---|
| 導入 | 1 | 1 本時の学習を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> これからの日本の介護保険制度のあり方を附属中学校から提案しよう。 ～熊大附中プランを作ろう～ </div> | | ノートパソコン プロジェクター カード |
| | | ・介護について、3つの国の制度から学んだことを振り返る。 | ・掲示資料をもとに、国によって介護保険の違いがあることを確認させる。 | |
| 展開 | 9 | 2 これからの日本の介護保険制度のあり方を発表する。(代表) | ・事前に調べたことをもとに、意見を出させる。 | プロジェクター 発表用カード ワークシート 討論会の流れシート キーワード用紙 |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分たちで考えた「これから目指す日本の介護保険制度」について発表しよう。 *視点の変化(政府が作る制度面) </div> | | |
| | | <意見のもととなると予想される各国の社会保障制度の特徴> | | |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <スウェーデン> ・高負担・高福祉の考え ・国による責任を持った補償 ・平等と連帯という考え ・ホームヘルパーの人数や介護サービスのちがい </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <アメリカ> ・低負担・低福祉の考え ・民間がサービスを行う ・自分で介護サービス代は払う ・自由な競争と平等な機会 ・貧しい人を助ける制度 </div> | |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <日本> ・介護保険に応じたサービス ・民間が中心の介護サービス </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・介護に対する個人負担増 </div> | |
| | 15 | 3 高齢者(介護される人)の立場で考えた介護のあり方をとらえ直す。 | ・「おむつはずし」をもとに介護される人の立場で考えさせる。 | |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> なぜ、『鶴舞乃城』では「おむつはずし」を行っているのだろうか? *視点の変化(介護される方の思い) </div> | | |
| | | (1)自分の考えを出し合う。 (2)教師の話聞く。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> *自分たちは本当に介護される立場の方のことを考え </div> | 高齢者用のおむつ |

| | | | |
|-------------|---|--|---|
| | <p>・「おむつはずし」の大切さ ・介護のあり方とは何か</p> <p>(キーワード)</p> <p>・ 随時交換 ・ トイレ誘導 ・ 自立支援 ・ 人間の尊厳</p> <p>(3) 高齢者の方はどんなサービスを求められているかを発表する。(訪問体験)</p> <p>20 4 介護する(わたしたち自身も含めて)立場で考えた介護のあり方をとらえ直す。</p> | <p>ていただろうか? (豊かなイメージ・葛藤の場面)</p> <p>・ 高齢者の方の人間としての尊厳について考えさせる。 ・ 経験したこと, 実際に聞いたことをもとに発表させる。 ・ 食事の環境 ・ ふれ合い 等 ・ 教師の体験をもとに介護する人の立場で考えさせる。</p> | <p>「鶴舞乃城」 看介部長 高口光子氏の VTR</p> |
| | <p>これからの日本はどのような介護保険制度のしくみを作っていくべきだろうか? *視点の変化(介護する方の思い)</p> <p>(1)説明を聞いた後, 自分の考えを書く。 (2)グループで意見を出し合う。 (3)全体で考えを出し合う。</p> | <p>～私が教えて頂いたこと～ 老いて病んで亡くなっていくお年寄りを介護する意味(価値)とは?</p> | |
| ま と め | <p>5 高齢者の生きがいについての話を聞き, 次の学習への意欲を持つ。 6 本時の学習をふり返り, まとめを発表する。</p> | <p>・ 介護という仕事の意味 ・ 高齢者の方の経験は宝(経験を生かしていただく) ・ 地域の中で, 支え合うことの大切さに気づかせる。</p> | |

(3) 評価

- ① 調べたことをもとに, 積極的に話し合いに参加しているか。
- ② 話し合いや調べたことをもとに, 介護の制度について多面的・多角的にとらえて, 自分の考えをまとめているか。

【参考文献】 一番ヶ瀬康子, 日本と世界の高齢者福祉, くもん出版, 2003
 田中 元, 介護保険で仕事はここが変わる, ぱる出版, 2006
 高口光子, 仕事としての老人ケアの気合い, 医療薬出版株式会社, 2002
 高口光子, 認知症介護びっくり日記, 講談社, 2008
 高口光子, 新しい介護学 生活づくりの排泄ケア, 雲母書房, 2008